

Ⅱ. 球場内での応援について

応援時の注意事項

1. 基本的にアルプス席が学校の応援席（46ページの座席図参照）

アルプス席学校応援団（OB会や保護者会など学校がチケットを配布した方）は学校管理下となりますので、ルールを守ることが求められます。高校野球の応援ルールをご理解のうえ、後援会、同窓会、OB会、保護者会関係者、友情応援関係者等にも徹底してください。

一方、アルプス席（上方の指定席）では一般の方も観戦しています。自校への応援を無理強いするなど、トラブルのないようご注意ください。

また、下段の広いスペースは緊急避難路です。立ち止まったり、ボードを掲げたり荷物を置いたりしないでください。

アルプス席前方の席（野球部員や一般生徒の前方の席で、緊急避難通路の横2～3ブロック）の使用について工夫してください。

以前、前方の席で地元有志やOB、県人会などのグループが、コロナ禍にもかかわらず、飲酒したり、マスクをせずに大騒ぎすることがありました。学校アルプス席（一般入場者の上段席は除く）は学校管理下となります。入場券の配布先や座席配置について、学校側がよく把握してください。前方の席については、緊急時打ち合わせ用、教職員用、報道用などに限定したり、また、座席の上や座席間に、間隔をとって野球部員のバッグを置いたり、学校側が掌握できる少年野球チーム、保護者、一般生徒用に限定したり等工夫をされる学校が増えています。満員等でやむを得ない場合もあるかと思いますが、可能であれば入場前に各校で適切な工夫と対応をお願いします。

また、昨今、アルプス席上段の指定席にいるべき一般観客（学校関係者ではない）が、学校アルプス席前方の座席が空席になっているため、勝手に移動し座るケースが出てきています。学校関係者ではないと思われる場合、すぐに警備員に連絡してください。

2. 試合中のファウルボールには十分注意してください。

スタンドで応援する野球部員は、必ずグラブを持参して、試合中の自校プラスバンド生徒を取り囲むようにしての飛球事故防止に努めてください（別紙参照）。配置するのは野球部員以外でもかまいません。野球部顧問（コーチ）と連携を取り、必ず試合開始前に配置をお願いします。

3. マナーを守った節度ある応援を心がけてください。

①応援や演奏、太鼓の使用が開始できるのは「プレーボール」以降です。ただし、入場後の音出し（調整）は可です。

②試合前にエールの交換をする場合は太鼓の使用はできますが、校歌斉唱はできません。試合後のエールの交換はできません。

③プラスバンド演奏や太鼓を使っの応援は攻撃時のみとします。応援や演奏の開始は各イニングの先頭打者がアナウンスされてからとし、3アウトになった時点で演奏や声を合わせての応援はやめてください。攻撃時には立ち上がって応援できます。但し、学校アルプス席の最上段の横一列では立っの応援はできません。応援人数に余裕がある場合、その一列に応援団を配置せずに空席にすることもお考えください。各方面からの友情応援などを受ける場合も趣旨を徹底するようお願いします。

④守備中は演奏や太鼓を使っの応援、手拍子はできません。座ったまま、拍手（メガホン）のみで応援してください。また、集団として「がんばれ」等の声を合わせての応援もできません。

⑤次の場面では、演奏や太鼓を使っの応援ができません。

- ・ 試合前のシートノック時。音出しもやめてください。
- ・ スタメンのアナウンス時。音出しもやめてください。ただし、拍手は可です。
- ・ イニング間
- ・ 試合が中断（球審の場内アナウンスや選手のけがなど）した場合。ただし、タイムをとり、内野手がマウンドに集まったときは継続しても構いません。
- ・ 5回終了時のグラウンド整備中。この間は、水分補給や休息に充ててください。
- ・ 始球式が行われる場合。
- ・ 各校の初戦では、2回表裏の攻撃が始まる前にそれぞれの学校の校歌が流れる時。斉唱と手拍子は構いません。
- ・ 試合終了時に勝利校の校歌が流れ、校旗の掲揚が行われる時。斉唱と手拍子は構いません。

⑥得点時などにハイタッチや座席の上に立ったり、一カ所に集まったりして盛り上がる行為（特に、野球部員）等は禁止します。

⑦ウェーブ行為、タオルを回しての応援は、守備選手に緊張感・威圧感を与えるので、自粛してください。

⑧相手チームに敬意を払い、「○○高校、倒せ！」等の応援はしないでください。

⑨横に動きながらの応援はやめてください。

4. 応援リーダー、チアリーダーについて

- ①応援リーダーは下段・中段通路で指揮してください。動きながら応援をリードすることはできません。
- ②チアリーダーは縦通路で応援をしてください。下段通路や横通路でチアリーダーがダンス・演技をすることは禁止します。盗撮防止のため、チアリーダーの周辺に教職員を配置し、内外野のカメラにはご注意ください。

5. ブラスバンドに関して

- ①楽器搬送用の応援団バス（原則として2台）は、国道43号高架下（5号スパン＝43ページの案内図参照）で楽器の積み下ろしができ、搬送の団員も同乗できます。このバス（トラック）は一旦、浜甲子園駐車場に來場し、駐車場の警備担当者に楽器搬送用バスであることを申し出て指示に従い、通行証を受け取ったうえで5号スパンにお越し下さい。くれぐれも、5号スパンに直行しないで下さい。トラックなどで運送する場合、フロント部など見やすいところに学校名を明記して下さい。いずれも（「甲子園応援団バス専用駐車場利用証＝以下 専用駐車場利用証」応援団責任者会議で配布）が必要です。
- ②楽器収納ケースは、楽器搬送用バスに残してください。応援席のスペースは限られています。
- ③球場周辺でのブラスバンドの練習や演奏行進は厳禁です。
- ④アルプス席の座席配置は「アルプス席座席表」（46ページ）です。演奏は必ず指定の場所をお願いします。
- ⑤大音量での演奏は球場周辺住民にとって騒音となることがあります。迷惑とならないようご協力願います。
- ⑥応援団用の太鼓（1個）、ブラスバンドのスネアドラムや太鼓類（大中小を問わず）は、ブラスバンド席の下段通路の範囲内に配置し、緊急避難経路や座席には置かないでください。
- ⑦ブラスバンド部員が交代しながら演奏することは禁止します。
- ⑧ブラスバンド部員は、立ち上がっての演奏や、楽器を左右に振るなどのアクションは行わず、常に座って演奏してください。但し、太鼓類の演奏時はその限りではありません。

7. その他

- ①球場内や球場周辺でゴミを絶対に捨てないでください。
- ②忘れ物（特に携帯電話等の小物）がないよう十分にご注意ください。

球場内の持ち込み用具等について

1. 以下に記載のない物品の持ち込みについては、事前に必ず主催者にご相談ください。

分 類	仕 様 品 ・ アイテム	備 考
鳴り物	ブラスバンド楽器 ハンドマイク2台 太鼓1台（応援団用） ブラスバンドスネアドラム メガホン、Vメガホン、 エアスティック	ハンドマイクは試合開始前、終了時の誘導、 伝達のに使用可。 ※メガホンは60cm以内。カラーコーン（パイロン）の転用不可
	《禁止》 音響装置（アンプ等） 和太鼓 鐘 笛 カスタネット プブゼラ 拍子木 竹ばち 算盤 爆竹 花火等火薬類 クラッカー ハンドクラッカー ハリセン 鳴り物として使用するペットボトル（砂、ビーズ等中身が飲料以外）	

小道具	帽子、サンバイザー、タオル、手ぬぐい、うちわ、扇子、Tシャツ、ポロシャツ、ウィンドブレーカー、ユニフォーム プラバン、選手名、応援指示用ボード <下記の6. 参照ください>	個人名（1名でも複数でも）、企業名、商品名の入った物は不可とする。 タオルの大きさはスポーツタオル、マフラータオル程度。
	《禁止》 人文字用パネル（申請） 演台 踏み台 脚立 法被 祭り装束 ジェット風船 紙テープ 紙吹雪	
旗 類	横断幕（※1.2m×12m以内） 応援団旗（校旗）	いずれも指定場所でのみ使用可。
	《禁止》 大漁旗 万国旗 キャラクター旗等 垂れ幕 桃太郎旗（のぼり旗） 応援小旗 寄せ書き	
飾り物	千羽鶴	指定場所にのみ設置可能
	《禁止》 ※千羽鶴の禁止・制限事項は、下記2. ③を参照 ぬいぐるみ 着ぐるみ だるま マスコット 木像 鋳造像 顔や身体の一部へのペイント、シール等 必勝祈願の大きなしゃもじや御札	
雑 貨	飲料（氷）、クーラーボックス、ポリバケツ、運搬用台車	最小限の数量にとどめる 台車は前後2名で操作
	《禁止》 ウォーターサーバー 製氷機 アイスピック 金属製バケツ たらい	

2. 上記以外で持ち込みを禁止、あるいは制限するもの

- ①スタンドにゴミになる可能性の高いもの。
- ②着ぐるみ・被り物（大小問わず）、飾り物・置き物類、ノボリ・垂れ幕・小旗などは観戦の妨げになり、事故につながる危険性がありますので禁止します。
- ③千羽鶴で文字や絵を表現した物、のれん状にした物、額等枠に入っている物は持ち込みできません。また、選手個人名や寄せ書きが付けられた千羽鶴も不可です。千羽鶴の掲示は、束ねてある自校の物一つに限ります。横断幕のところに吊るしてください。
- ④出場選手個人名や宣伝とみなされる企業名、送り主名、商品名入りの用具。宣伝とみなされるパネルやボード、寄せ書きなどは禁止。
 近年、選手個人名の書かれたタオル等を掲げるケースが非常に目立っています。応援団責任者は、応援席を見渡し、そのようなことがないようにご注意ください。なお、野球部責任教師と連絡をとり、個人名の書かれたタオルの持ち込み禁止の旨をプリントやホームページ等で事前に通知していただくと効果的かと思います。
- ⑤地元での催し物、物産品などPRに関する物品や、市の旗等、市のPRに関する物品は禁止です。
 しゃもじ・鳴子の使用は可とします。
- ⑥タオル・うちわ・メガホン等の文言表記は「大会名・校名・校章・校歌・校訓」までとします。ただし、うちわに「必勝」程度の文言表記は可とします。写真、イラスト、キャラクター入りは不可とします。近年、個人名や校名等が書かれた手作りうちわを見かけますが、禁止します。表記で判断に迷う場合は、日本高野連に相談してください。タオルの大きさは一般的なスポーツタオルやマフラータオル程度とします。

- ⑦Tシャツやウィンドブレーカー、鉢巻き等の身に着けるものの文言表記は上記⑥及びそれに準じます。表記に関して判断に迷う場合は、日本高野連に相談してください。個人名(複数でも)や商業的な文言、写真やイラスト、キャラクター等は避けてください。また、「必笑」などの造語や揶揄した言葉等を表記することはできません。

3. 応援団用に配布するものがある場合

球場へ到着するまでにバスの中で行ってください。球場の外周並びにスタンド内での応援用具の配布及び回収は人が殺到して思わぬ事故・トラブルの元になりかねないため、原則禁止としています。やむなく球場内で配布せざるを得ない場合は、生徒のみで保護者やOBなどへの配布は不可とします。必ず事前に大会本部へご相談ください。

また、試合後の退場時に、保護者会や後援会等がメガホンやグッズ等を回収することはしないでください。

4. 横断幕について

横断幕の大きさは1.2メートル×12メートル以内。アルプススタンド外野寄りの最上段から下に向かいフェンスに掲示してください。自治体関係の幕は不可とします。

5. 応援団旗(校旗)を持つ旗手について

アルプス席最上段の指定場所でのみ掲揚を許可しています。応援団旗(校旗)は1旗のみとし、振り回さないでください。旗手には教職員と交代要員をつけ、状況に応じて旗手を交代するなどの措置をとってください。特に、旗の剣先については、周囲の人に危険が及ばないように十分に注意し、必要に応じ取り外すなど、各校で必要な安全対策をお願いします。旗が大きく観戦の妨げになる場合や強風や落雷などの危険が予想される場合、主催者が掲揚を禁止することがあります。必ず、球場側や主催者の指示に従ってください。

6. 応援団が使用するボード(プラスバンド用、選手名用、応援団指示用)

応援用ボードは最大で75センチ×100センチ程度の大きさで3枚まで同時に掲げることは可能ですが、担当生徒の負担にならないよう工夫してください。また観戦の妨げにならないよう、掲げる時間は必要最小限にしてください。場所はスタンド下段のみです。中段・上段・階段での使用は禁止します。観客の安全には細心の注意を払い、係員から指示があった場合はすみやかに従ってください。

応援リーダー他がボードを持つの移動は禁止します。

また、選手名は片面に表示し、選手名を表示した面をグラウンドには向けないでください。

7. 応援リーダーなどの服装や態度について

部活動の応援にふさわしい服装をお願いします。派手な祭り装束やハッピー姿は避けてください。応援リーダーは、下段・中段通路で指揮を執ってください。

8. ハンドマイク(拡声器)の持ち込みと使用について

ハンドマイクは試合開始前と試合終了後に限り、生徒や学校関係者に注意事項を伝達するためだけに2台までの使用を認めます。試合中の使用は禁止です。

9. 応援用具の搬出入について

応援用具の搬出入時に台車を使用することは認めますが、球場内には傾斜や段差があるため、一人での操作は大変危険です。必ず2人(前後操作)で使用ください。

一般観客席とのトラブル防止

- ①アルプス席券は一般の来場者にも発売しています。指定席ですので前の試合が終了しても観客は入れ替わりません。学校応援団は一般の来場者との無用のトラブルは避けてください。

- ②盗撮や置き引き被害、無用のトラブルを防ぐため、チアリーダーやプラスバンド部員の周囲には学校、応援団関係者が着席してください。もし、不審な人物を見かけたら、自分たちでは声をかけず係員・警備員に連絡してください。

近年、内野席だけでなく外野席からもアルプス席に向けての写真・動画撮影、録音等が増えています。「撮影はやめてください」等の文言表示で警告したり、手で「×」印を作ったりして対策をとる学校もありまし

た。また、内野席から離れた位置で演技するなど配置も大事です。参考にしてください。

- ③一般の観客とトラブルになりそうな場合は、応援団責任者もしくは学校関係者が当たってください。生徒が対応することにより、トラブルになるケースがあります。対応しかねる場合は大会本部、またはアルプス席の係員にご相談ください。
- ④下段通路および階段は、応援に使用するとともに一般の通路でもあります。特に下段通路は報道関係者もあり大変混雑します。通行者の邪魔にならないように十分気を付けてください。下段通路でチアリーダーがダンス・演技することは禁止します。

入退場について

- 1. スタンドへの入退場時は大変混雑します。危険防止のためにも球場係員の指示を必ず守ってください。

生徒応援団の入場は、

1 塁側のチームは、1号門と24号門の間

3 塁側のチームは、14号門と15号門の間

にある入場口（アルプスと外野の境界通路・外野取り合い）となります（45ページの「応援団待機場所」参照）

第1試合の応援団は開門と同時に入場できます。第2試合以降の応援団については前試合の7回表をめどにご入場いただく予定です（前試合の場内の状況などにより試合終了後に入場となる場合もあります）。球場係員の指示により、応援リーダー、チアリーダー、一般生徒の順に入場となります。前試合の5回終了までに入場口付近に集合してください。なお、入場の際の入場券は必ず1人1枚ずつ持つようにしてください。

2 試合目以降の応援団入れ替え時から試合開始までのグラウンドスケジュールは、おおよそ次のようになります（前の試合の状況次第で変更の可能性があります）。

- ①前試合終了 約10分後 後攻チーム・ノック（7分間）
- ② 〃 約17分後 先攻チーム・ノック（7分間）
- ③ 〃 約25分後 グラウンド整備、選手アルプス前あいさつ
- ④ 〃 約30分後 試合開始

- 2. アルプス席の学校専用席は自由席です。

3. 応援用具・横断幕などを放置することがないようにしてください。使用した応援用具などは必ず応援団責任者が責任を持って回収するとともに、ゴミは持ち帰ってください。場内や球場周辺でゴミを絶対に捨てないでください。また、忘れ物がないように十分注意してください。

- 4. 学校は、観客の出発から帰校まで全責任を持ち、トラブル、事故がないように十分指導してください。

写真撮影について

- 1. 試合を観戦、応援する一般客や学校関係者（教職員・生徒・保護者・OBほか）などすべての観客は、個人で楽しむ目的に限り写真（静止画含む）や動画の撮影をすることができます。写真や動画データは第三者に譲渡できません。
- 2. 上記1の全ての観客はグラウンド上のプレーや選手、応援風景などを撮影した写真や動画を電子媒体（YouTubeなどのウェブサイトやフェイスブック、X（旧ツイッター）、Instagram、LINEなどのSNS）に掲示、投稿することはできません。これは選手や学校関係者を含む観客らの肖像権をめぐる無用のトラブルを防ぐためです。出版物掲載（無償や有償問わず）や写真、動画販売などの営業を目的とした撮影は禁止です。
- 3. 学校関係者が応援風景などの写真を撮影し、自校ホームページのみに掲載することは認めます（動画は不可）。グラウンド上は個人が特定されず、プレーしていない場面の図柄の掲載を認めます。応援風景、グラウンドそれぞれ2～3枚程度とします。写真や画像データの第三者への譲渡はできません。トラブルが起きた場合は学校の責任で対応してください。

4. 卒業アルバムや記念誌、会報（生徒会・OB会・PTAなど）、学校の資料保存用として、写真や動画の撮影を依頼した業者が行う場合は認めます。出場校提出書類の「写真・動画撮影等の許可申請」（様式13）に記入のうえ、日本高野連事務局に申請してください。
5. 写真や動画を撮影する際はスタンドでの三脚の使用はできません。併せて、グラウンドに向けてのフラッシュ撮影はやめてください。また、撮影のためにみだりに座席を移動することや、通路、危険な場所、グラウンド内での撮影は禁止です。
6. 新聞、雑誌、テレビなどの報道カメラマンは取材要項に基づいて取材をしています。撮影の妨げにならないようにご協力ください。